

南小便り

先日、職員で会議をしているとき、電話がかかってきました。職員の一部が電話を取ってくれました。

「学校の近所の者ですが、子どもの登下校のことでお話があります。」と、話し始められました。学校としては、ちょっと身構えてしまいます。子どもが何かやったのだろうか。ひどい迷惑を掛けたのでなければよいが・・・と。でも、とってもいいお話だったのです。ほっとするやら、嬉しいやら。下校中、射越屋の子ども4人が、R372を渡ろうと待っていました。そこに通りがかったお電話の方が、渡らせてやろうと車を止められました。子どもたちは渡り終わった後、その方の方を向いて深々とお



30分休みに“ふれあいデー”と称して、1年生から6年生までが一緒になった縦割り班で遊びました。6年生の子は、みんなが楽しめるようにと遊びの内容、グループ分け、ルール作りにも苦心をしていました。「1年生の“楽しかった～”の一言が、次への励みになった！」と嬉しそうでした。行事ごとに成長している6年生です。



「自分の命は自分で守る！」の合言葉のもと、1・2年生は交通安全教室、3・4年生は自転車教室を開きました。ご協力願ったみなさまありがとうございました。

辞儀をしたようです。それがとっても気持ち良かったというお電話でした。子どものよい行いが嬉しいのはもちろんですが、よかったことを連絡しておこう

というお気持ちも嬉しかったのです。そんな心遣いをされる方は、きっと子どもたちのよくないところにも気が付かれています。そこはこらえて、よいことを見つけたときに連絡をくださったのです。わたしたちは、そのお気持ちを察しなければいけません。**善行をほめながら**、「これからも、あいさつをしっかりとしようね。」「もっともっと、ありがとうの気持ちをしっかりと表そうね。」と、声高に子どもたちに伝えなければなりません。



今年も、2年生が1年生を連れて**学校探検**をしました。2年生は、しっかりと校長室の説明をしていましたよ。



この字は、日高君のおばあちゃんが書いてくださいました。美しい字が善行を後押ししてくれます。

今年のPTA 共育作戦は、「**一日一善**」。正しい行いを積み重ねることも大切ですが、それを確かめ合う親子の会話も大切にしたいというのがねらいです。案内プリントをよく読んでいただき、一緒に配っていただいた「一日一善」と書かれた紙を、みんながよく見るところに貼りましょう。わたしも、校長室の窓に貼りました。食べることなら一日四膳くらいはいけるのですが、それは決して善行ではありませんね。



環境委員会の子たちが、掃除の仕方を寸劇で教えてくれました。南っ子は“もくもく”掃除をします。